

印西市議会議員の浅沼美弥子です。

まず初めに、台風15号をはじめ度重なる災害で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。公明党は防災減災を社会の主流に押し上げ政治の最重要課題するよう行動してまいりました。今回の教訓を生かしてさらに災害に強いまちづくりに尽力してまいります。

また、本年は12年に一度の統一地方選挙と参院選が重なる亥年の選挙の年でした。おかげさまで公明党は4月の統一地方選挙、7月の参院選挙と大勝利を収めることができました。これもひとえに支援組織の創価学会の皆様の献身のご支援と公明党頑張れとご支持くださいました多くの皆様のおかげでございます。改めまして心より感謝と御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

さて、11月は厚生労働省が定める「児童虐待防止推進月間」です。

厚労省の発表によりますと、2018年度に全国の児童相談所が対応した虐待に関する相談件数は15万9,850件。毎年過去最高を更新し続け、10年前の4倍に増加しております。

公明党はこれまで児童虐待防止対策について他党をリードする働きをしてまいりました。

2000年には、対策強化を求める署名活動を展開。74万人分の署名を首相に提出。これが契機となり、公明党案が多く盛り込まれた「児童虐待防止法」が2000年5月議員立法で成立しました。当初、各党の意見の隔たりが大きく、まとめ上げることが困難との見方もありました。この時に各党の調整に尽力し法案の取りまとめを実現したのが、当時青少年問題特別委員会の委員長だった公明党の富田茂之衆議院議員です。この時の富田の活躍は2年後、読売新聞掲載の「法律物語」に紹介されました。富田茂之衆議院議員は公明党千葉県本部代表であり千葉県の誇りでもあります。

公明党はその後も課題に対応したきめ細かい改善策もリードしてきました。2015年7月から、虐待の通

報や相談ができる全国共通ダイヤルを短縮、3桁化した「189」を実現。皆様虐待の通報・相談は「いちやく」「189」に電話してください。24時間365日児童相談所につながります。この電話を受けてからのガイダンスの短縮化も実現し、来月には189の通話料の無料化も公明党の粘り強い主張により実現することになっています。

様々な対策に尽くしてきましたが、幼い子どもの命が虐待によって奪われる悲惨な事件が後を絶ちません。昨年5月には東京都目黒区で5歳の女の子が、本年1月には千葉県野田市で小学4年生の女兒が虐待によりなくなり、社会に大きな衝撃を与えました。

もうこれ以上悲惨な事件を起こさせてはならない。公明党は強い決意で2月、児童福祉法の抜本的な改正を求める緊急提言を政府に提出。野党の協力も得て6月、児童福祉法等改正法を成立させることができ来年4月施行となります。

改正法には、しつけと称した体罰が虐待を招いていることから、民法の懲戒権に体罰は含まれないこととし、親などによる体罰防止を明記しました。また虐待の半数以上が精神的虐待であることや、虐待が行われている家庭では配偶者等による暴力（DV）があることが多いことから、DV防止法の一部を改正して、関係機関との連携を強化することにしました。また、施行後2年をめどに、民法の懲戒権についても議論の結果を出すべくこの夏から法制審議会において議論を開始しております。

公明党は、児童虐待根絶には、規制や罰則だけではなく、子育て家庭が社会から孤立しないよう、それぞれの家庭が抱える困難や悩みにきめ細かに支援できる体制を整えていくことが重要であり、そのためには、身近な市町村の取組が重要だと考えます。これまで印西市においても議会等で妊娠、出産、育児に切れ目の生じない体制を構築するために提言し、政策を進めてまいりました。

子育て世帯が初めに市と接点を持つ、母子手帳の交付時、保健師など専門の職員が一人一人と対面に関わるような体制にしました。また赤ちゃんが生まれてから4か月の間にご家庭を訪問する「こんにちは赤ちゃん事業」について、誰一人取り残さないとの精神を強く持った取り組みを訴え、100%目指して努力していただいている所です。また、産後は精神的にも不安定な時期であり、産後のケアを受けられない家庭に対し、助産師や保健師など専門家にケアをしてもらえる宿泊型の産後ケア事業を創設。昨年からは日帰り事業も拡充することができました。

今後はさらに妊娠、出産、育児と切れ目ない支援の強化のため、子育て世代包括支援センターや、子ども家庭総合支援拠点などの機能を持つ場の整備を実現できるよう頑張ってまいります。

児童虐待根絶へ、これからも、地方議員と県会、国会議員とのネットワーク力を強化し取り組んでまいります。これからも公明党に皆様の変わらぬ温かいご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。